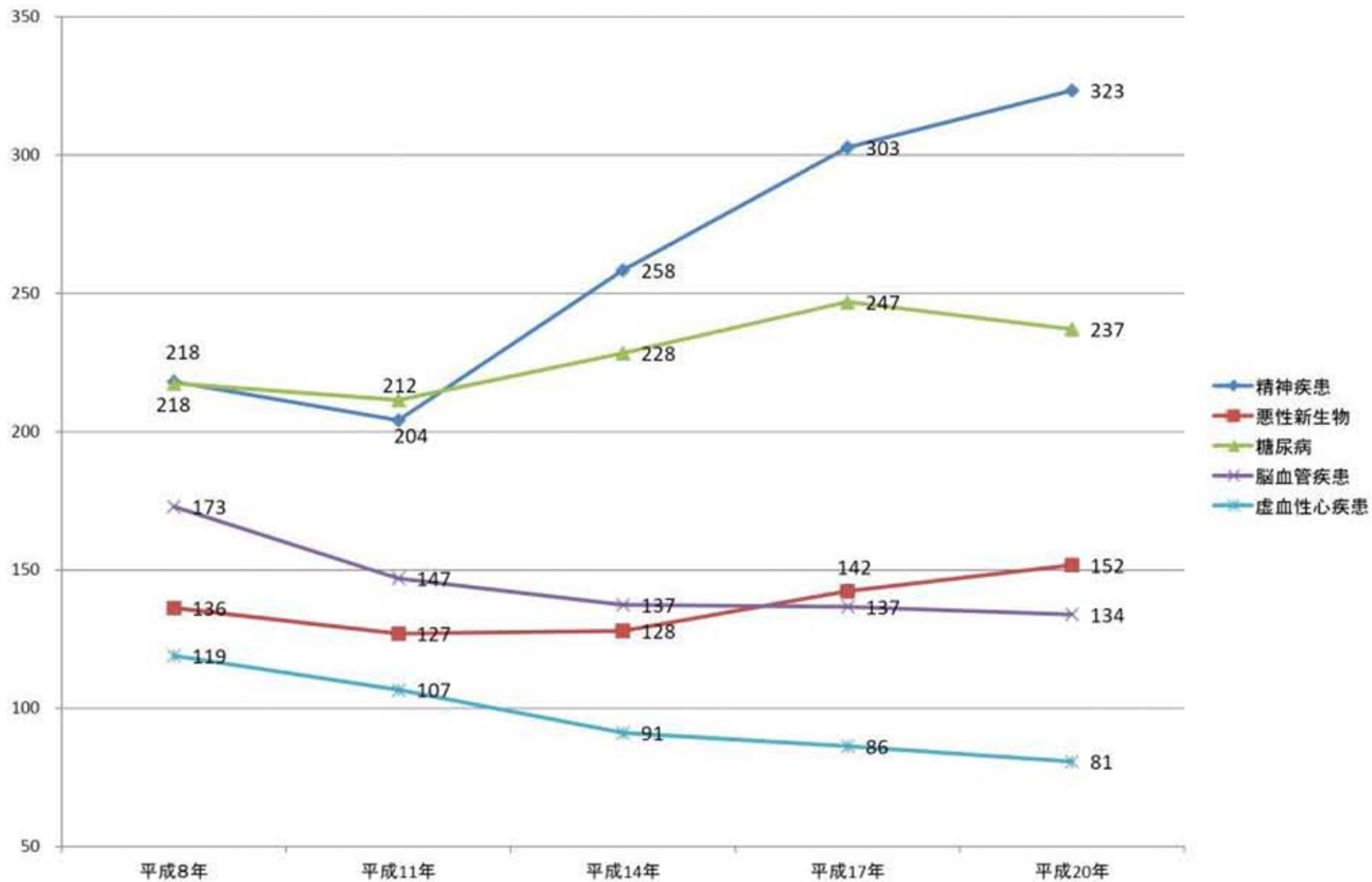


# 配慮が必要な方への適切な 消費生活相談

認知症や心の病を抱える方への支援の  
あり方について

(公益財団) 松原病院  
(医) 福井心のクリニック(AOSSA)  
(医) 菜の花こころのクリニック (春江)  
(公社) 福井被害者支援センター  
嶺北認知症疾患医療センター  
福井市中央北包括支援センター (ホヤネット)  
(公社) 認知症の人と家族の会福井支部  
松原六郎

## 傷病別の医療機関にかかっている患者数の年次推移



※単位: 万人

※出典: 患者調査を基に作成

# 精神疾患の多さ

- 国民の約20%が生涯のうちに精神疾患を経験するという報告もある。『精神疾患の有病率等に関する大規模疫学調査研究』（'16年）によると、精神障害の生涯有病率は、アルコール依存症が14・9%と最も高い。
- いずれかの気分障害は7・0%。階層別にみると、気分障害は女性の若年・中年層に、アルコール依存症は男性、若年者、結婚歴がない人に多くみられたという。

# 精神障害の特性

## 発達障害

知的障害、学習障害、心理発達障害（自閉スペクトラム症、注意欠陥多動症ADHD）、チック

## ストレス性疾患

適応障害、パニック症、社交不安障害（ひきこもり）、強迫性障害、心気症、神経性やせ症（過食症）、心的外傷後ストレス障害（PTSD）、依存症（アルコール、薬物、麻薬、ギャンブル、ゲーム）、解離性障害（離人症）、

## 脳伝達物質異常

統合失調症、うつ病、双極性障害

## 脳器質性障害

身体疾患に伴う精神症状、認知症（アルツハイマー型、レビー小体型、、前頭側頭型）、せん妄、高次脳機能障害、若年認知症

## その他

てんかん、睡眠障害、パーソナリティ障害（境界性パーソナリティ障害）、周産期うつ病、性同一性障害

# 児童青年期の発達障害の分類

I C D 1 0

F7知的障害

F8心理的発達の障害

F8 1 学習障害

F8 4 広汎性発達障害 - 自閉症

アスペルガ

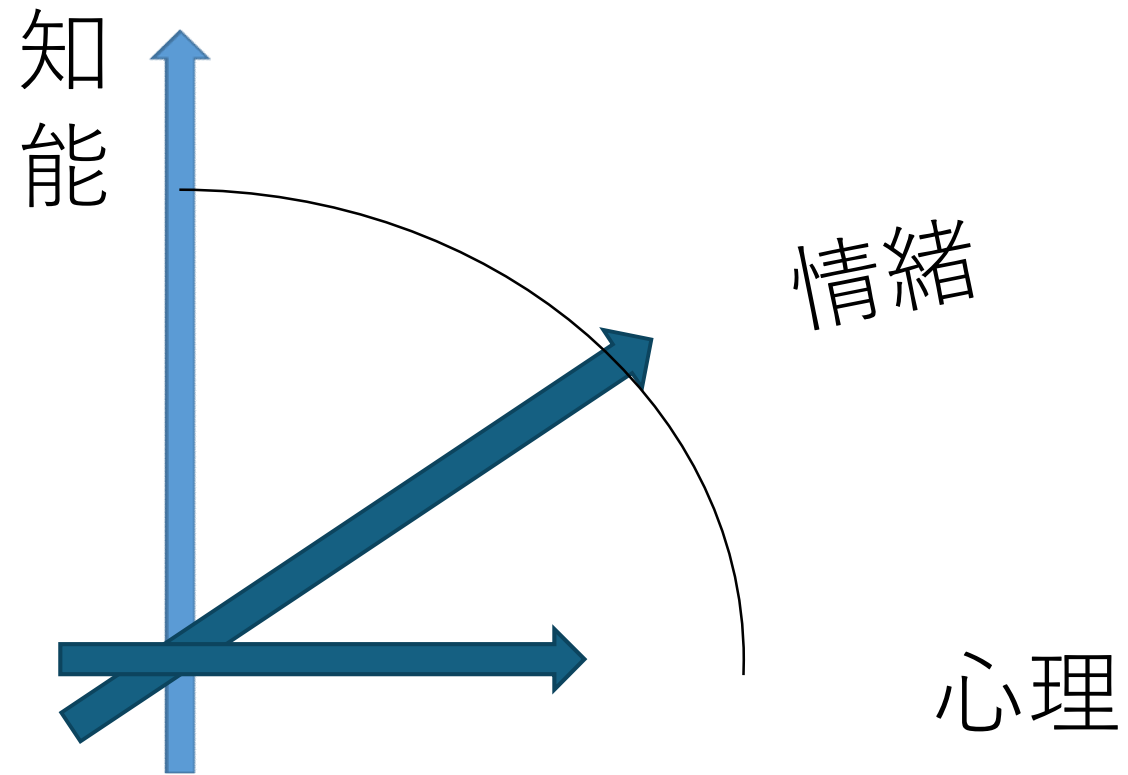
- など

F9小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害

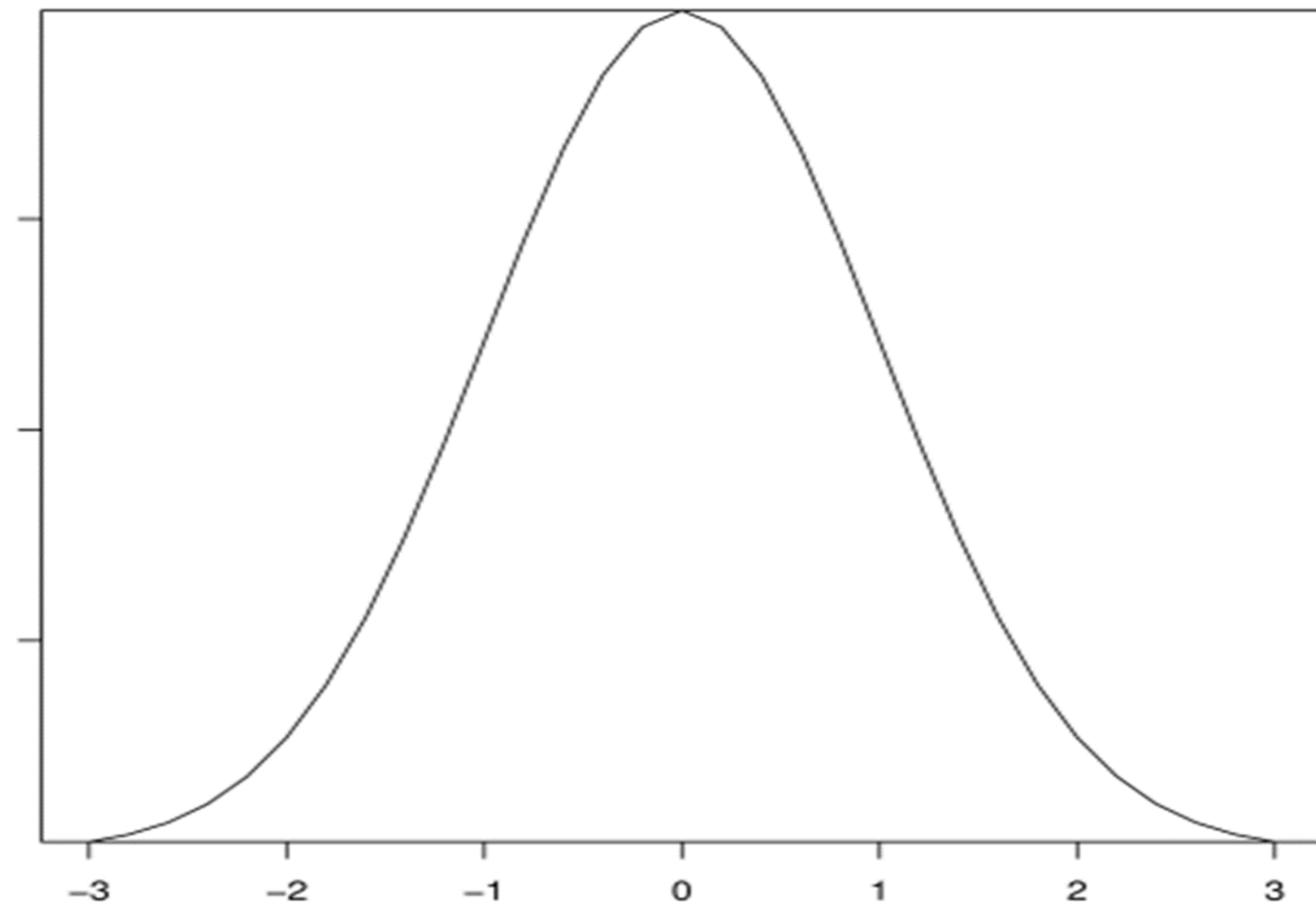
F9 0 多動性障害

F9 1 行為障害

# 発達とその個人差



# 正規分布



# 知的障害の程度分類(ICD-10)

重症度	I Q
境界域	70-85
軽度	50-69
中等度	35-49
重度	20-34
最重度	19以下



# 軽度知的障害

- ・ 支援があれば、読字や金銭などの概念を理解することができ、また買い物や家事なども1人でできるようになる。
- ・ コミュニケーションはパターン化されていることが多く、ほかの人と比べると未熟である。
- ・ 記憶や計画、感情のコントロールなどが苦手である。

軽度知的障害は知的障害者の約80%を占めており、最終的な学業レベルはおおよそ小学校卒業程度。

一般的に精神年齢は9～12歳程度です。

言語や運動能力の習得は遅れるものの、衣食住などの日常生活はほぼ問題なく送れます。

幼少期に発見されづらく、本人や周囲が気づかないまま小学校に入学してから周りについていけないようになった時点で発覚したり、大人になってから気づく人もいることも多いのが特徴。

学業の成績が周囲と比べてふるわなかったとしても、「仕事をするうえでの実務能力」を問題なく持つ方も少なくありません。

本人や周囲を含めて知的障害であることに気付かずに社会生活を営む方も多いと言われています。

また、感情のコントロールが苦手で、人付き合いがうまくいかなかったり、環境の変化に敏感など様々な特徴があります。非常に素直であるという点もあります。



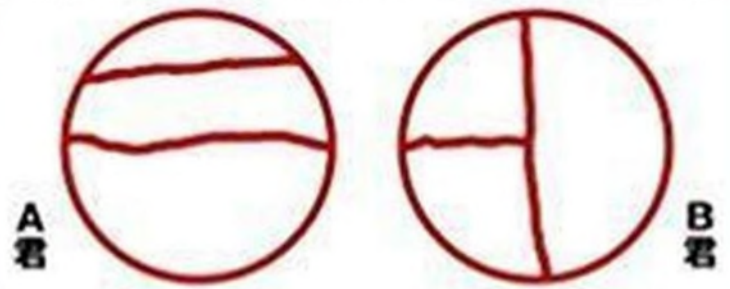
新潮新書

Brevity is the soul of wit,  
and tediousness the limbs and outward flourishes.

宮口幸治  
MIYAGUCHI Koji

# ケーキの切れない 非行少年たち

非行少年が「三等分」したケーキの図



A君

B君

「すべてがゆがんで見えている」  
子どもたちの驚くべき実像。

新潮新書 第141

# ケーキの切れない 非行少年たち

宮口幸治  
MIYAGUCHI Koji

非行少年が「三等分」した  
ケーキの図



2020年ベストセラ

「認知のゆがみ」が  
いじめ、性犯罪、  
殺人、虐待の  
原因だ！

70  
万部突破！

第

1

3  
冠

オリコン「新書部」  
トータル  
「新書」  
ノンフィクション部  
「新書」  
ノンフィクション部  
「新書」  
ノンフィクション部

位

非行少年たち

新潮新書

# ゲーム依存

良くある誤解

はじめは楽しかったネットゲーム。

しかしいまは、楽しいからゲームをしているわけではありません。

ほとんどが「つらい現実を忘れるため」「ダメな自分を見なくてすむように」ゲームを続けています。

# ゲームネット依存の問題点

## 心理面

社会生活が学べない

ネットの友人しかいない

## 生活面

体力低下、筋力低下（典型的には痩せ）

不眠、昼夜逆転、睡眠・覚醒リズムの障害

→いざ学校に行きたくても行けない

うつ、イライラ

## 課金

家庭内不和

ボンヤリした様子、あきらかに人が変わった様子

## 認知症のこころ,私たちのこころ

私たちは,自分が見,聞き,触ったりする世界の中にいると思っている.しかし,私たちの脳は,経験と記憶から世界を作っている.

スティーブン コスリン

# 福井県の高齢者

令和5年

福井県の老年人口（65歳以上）は232,132人（31.6%）

福井県の認知症高齢者（R6年4月時点） 28,668人（12.3%）

8人に1人

# 私たちの性格、こだわり

私たちは若いころ、社会から学んだ社会生活スキル、対人関係スキルを活かすために、個人的な性格やこだわりを抑え続けて生きてきた。

しかし、そのスキルが認知機能低下に伴って低下してきたとき、本来の性格特性やこだわりが表に出てくることになる。



どんなものが認知機能低下に伴って  
表に出てきてしまうか

頑固

慌て

依存

優柔不断

疑念

不安性、心配性

強迫性

身体に対する不安

⇒ 身体不定愁訴

# 若年性認知症

# 若年性認知症の分類

1. 原因不明  
アルツハイマー型認知症、前頭側頭型認知症（ピック病）、レビー小体病
2. 予防可能な認知症  
脳血管性認知症、アルコール性認知症、感染性認知症（HIV, クロイツフェルト・ヤコブ, 梅毒）、頭部外傷性認知症（ボクシング含む）、低酸素脳症、一酸化炭素中毒、腫瘍性

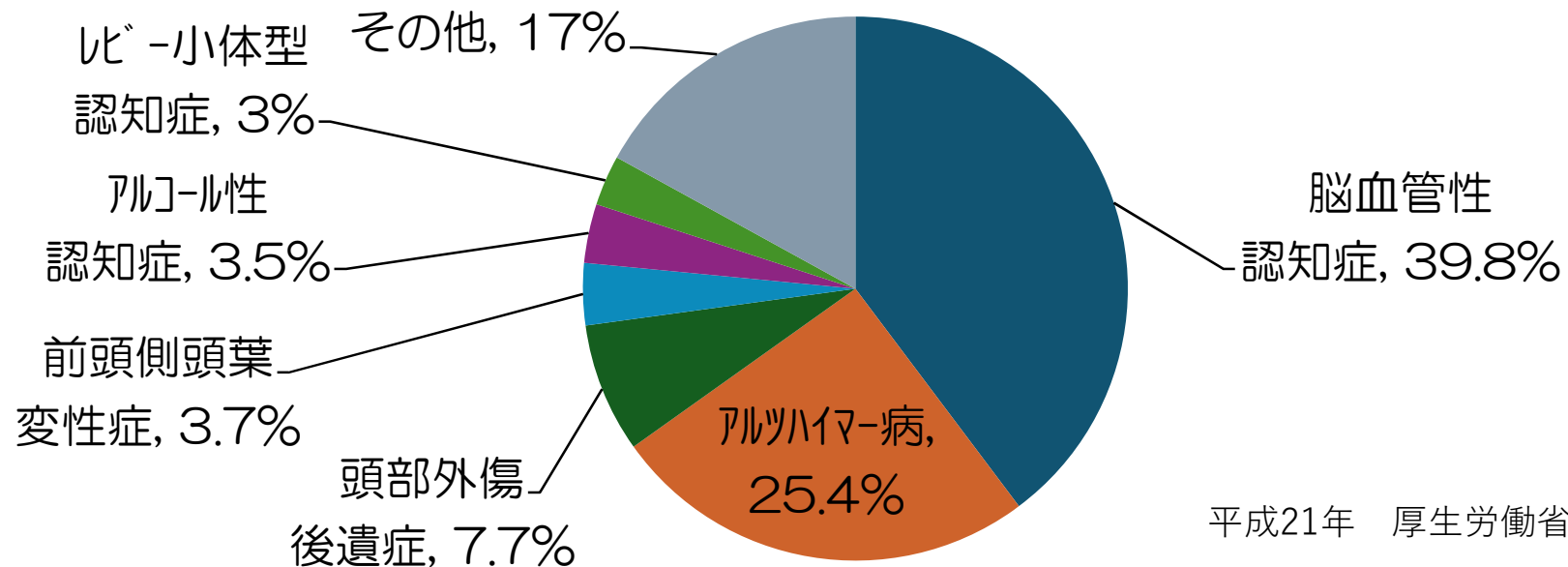
18歳から64歳までに発症した認知症、国内に4万人いるともいわれている。

# 若年性認知症

若年性認知症：65歳未満で発症した認知症

- 全国で37,800人と推計（平成21年）
- 今年度から3年間で全国的な調査を実施

若年性認知症の原因疾患別割合



# 若年性認知症の特徴

1. 現役世代に発症する 男性に多い、平均年齢は51才くらい働いている(経済的問題)、子育て中 → 家庭内での課題が多い
2. 今までと違う変化には気づくが、受診が遅れる
3. 体力や活動力がある  
一般のデイサービスでは対応しきれない  
社会的活動ができる能力がある人が多い
4. 介護者の負担  
介護者は配偶者に集中しがち  
時に複数介護になる  
高齢の親が介護を担う

# 前頭側頭型認知症

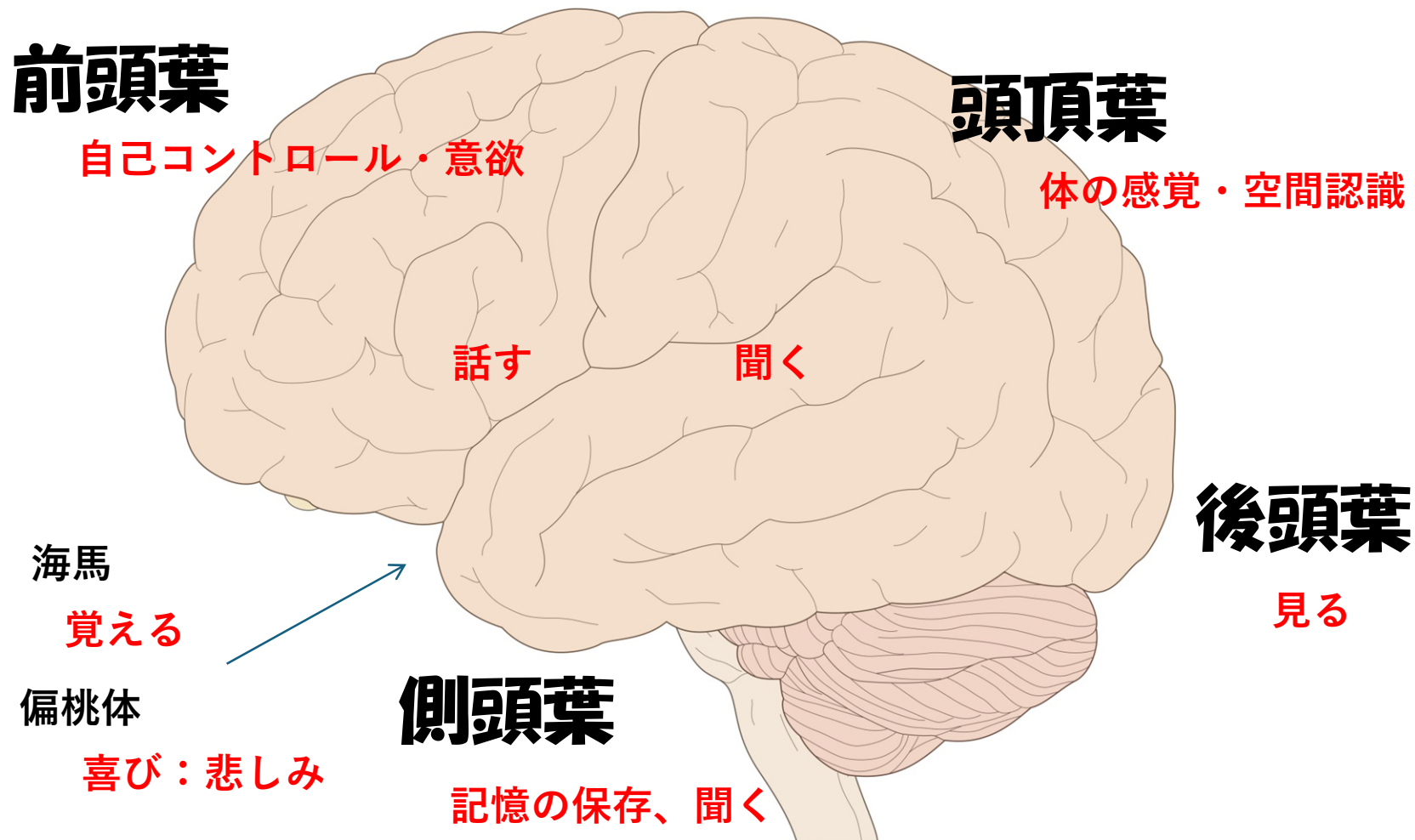
ピック病

ハンチントン舞踏病

筋萎縮性側作硬化症に合併したもの

など

# 大脳のはたらき



# 前頭葉が抑制しているもの

1. 後頭葉  
各種感覚に対して自我(自己存在) による  
抑制 VS 被影響性
2. 基底核  
反復常同などを抑制 VS 滯続症状
3. 辺縁系  
情緒の抑制 VS 不穏興奮、情動行為



# 前頭側頭型認知症の症状

特徴的な症状として

1. 身だしなみが無頓着
2. 感情鈍麻、自発性欠如
3. 抑制が欠如し、万引き、暴力
4. こだわり症状として、同じことを言い続ける、同じ動作（常同行為）、同じ食べ物、同じ道順
5. 初期には記憶障害は目立たない

6月20日 月曜日

此の如くハシラフハ白子也ト云フ  
 行致スルニ事ハ高橋ニ在ル  
 此の如くハシラフハ白子也ト云フ  
 高橋ニ在ルニハシラフハ白子也ト云フ  
 此の如くハシラフハ高橋ニ在ルニ事ハ  
 事ハ此の如くハシラフハ高橋ニ在ルニ事ハ  
 事ハ此の如くハシラフハ高橋ニ在ルニ事ハ  
 高橋ニ在ルニハシラフハ白子也ト云フ  
 事ハ此の如くハシラフハ高橋ニ在ルニ事ハ  
 高橋ニ在ルニハシラフハ白子也ト云フ  
 事ハ此の如くハシラフハ高橋ニ在ルニ事ハ  
 高橋ニ在ルニハシラフハ白子也ト云フ  
 事ハ此の如くハシラフハ高橋ニ在ルニ事ハ

# 物忘れがひどくなってきたお年寄りの 生きる態度（室伏君士）

## 高齢者の態度

- 1, イメージ想起が悪い
- 2, 変化に弱い  
化
- 3, 知的判断が悪い
- 4, 矛盾がない
- 5, 疑問質問がない（もっともらしい）
- 6, 過去化
- 7, 手続記憶残る（つもり行動）
- 8, 自分忘れ
- 9, 退屈がない
- 10, 今に生きる

## 介護者がすべき対応

目の前に示し視覚に訴える 繰り返す  
変化はゆっくり,なじみのものとともに変

間違いを許容する

説得より共感

世間ばなし

なじみの生きるよりどころを

生きかたを尊重

残る生きかたを持続させる

楽しく暮らす

今を大切に、日課で時の流れを得る<sup>27</sup>



# 困った症状の成因

←心がそうさせる症状

脳障害がそうさせる症状→

性的逸脱行為

意欲低下、過眠

せん妄

不眠、昼夜逆転

過食

幻覚、錯覚

盗られ妄想

強迫症状

うつ状態

不穏興奮、易怒性

不安焦燥

# なにもすることがなくなった人 が取る反応 (松原試案010320)

- 心氣的 気持ちが身体にむく
- 強迫的、常同的 気持ちや行動が同じことを繰り返す
- 被害的 他人に疑り深くなる
- うつ 上記反応が崩壊したとき
- 認知症 不用症候群 (廃用症候群)











聞いていただいて  
ありがとうございました。

松原六郎

